

立春の候、皆様におかれましてはますます清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より当機構の活動にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年1月1日の能登半島地震から1年が過ぎました。しかし、被災地の復興は道半ばであり、被災地の暮らしが一日でも早く平穏を取り戻せるよう心よりお祈り申し上げます。

また、昨年8月には宮崎県で震度6弱を観測した日向灘を震源とする地震(M7.1)の発生を受けて、気象庁は「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」を発表しました。

免震技術をはじめとした災害対策の重要性を認識させられる日々が続いております。当機構では最新の研究成果や技術動向を踏まえ、免震・制振技術の向上とより安全で強靱な社会の実現に向けて邁進していきます。

ニュースレターVol.004では、**動的性能確認試験**に関して当機構が推奨する**特記仕様書の文案**をご紹介します。皆様の日々の設計・設計監理・施工にお役立ていただければ幸いです。今後とも当機構の活動にご支援とご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

■「動的性能認証」を踏まえた免震特記仕様書の記述

当機構のE-Isolationを用いた「免震動的性能認証制度」を7月1日からスタートしました。今後「動的性能認証」を取得した免震装置の拡充に努めてまいります。また、「動的性能認証」取得製品を施主や設計者が選定できるよう当機構が推奨する免震構造特記仕様書の文案を作成しました。

https://jsil.or.jp/010_dynamic/Exp_20250204.pdf

多くのメーカー企業とともに当機構も一刻も早く動的性能認証の取得品が整備されるよう、引き続き認証試験に勤しんでまいります。

◆バックナンバー：ニュースレターVol.003

■「免震動的性能認証制度」がスタート

国土交通省から6月22日に当機構がE-Isolationを用いた「免震動的性能認証制度」を7月1日からスタートする

プレスリリースが発表されました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/house05_hh_001010.html

重ねて、この趣旨を多くの方々にお伝えするために、日本経済新聞(7月10日朝刊)にお知らせを掲載しました。

https://jsil.or.jp/007_media/menshin_nikkei20240710.pdf

■委員会活動に参加して頂いているメンバーの紹介

機構は下記に示す組織から構成されています。

https://jsil.or.jp/001_about/soshiki2024.pdf

前回のニュースレターでは広報部会メンバーを紹介しました。

財団の委員会を通して「免震構造・制振構造を応援しておられる方々を紹介致します。

<https://jsil.or.jp/support.html>

■「素晴らしい免震・制振建築」の紹介

JSIL の定款の 1 つとして、免震・制振建物の健全な普及と発展が挙げられます。

一般の方々に対して免震・制振建物をより身近に感じて頂くため、

また免震・制振建物を設計する際に工夫したことなどを共有し設計業務の一助となるものを目指し、

「素晴らしい免震・制振建築」を紹介することにしました。

JSIL 会員企業様から免震・制振建物の紹介資料として、今後ニュースレターにて定期的にお知らせする予定です。

以下に URL をお知らせしますので、ぜひご覧ください。

<https://jsil.or.jp/building.html>

・これまで名刺交換またはメールを戴いた方々にお送り致しました。今後のニュースレターの配信依頼、配信解除は (information@jsil.or.jp) [にご連絡下さい](#)。